

其の他の活動として、九月一日に組合宣傳デーを舉行し、争議の方面に於ては昨年十一月の川崎の富士瓦斯紛争の争議及び本年二月の別子の大罷業を始めとして、大小百数個の争議に何れも有利なる解決を見、従つて組合員数も若し増加を見、昨年十月を基準とすれば、昨年十二月は三割二分の増加、本年一月は四割二分の増加、四月は七割五分、八月は八割四分の増加を見るに至つたのである。

一 組合発展の方面に於ては

第二 中央委員会(十一月二十八日、二十九日)に於て九州聯合会の解体、九州鉄工組合九州硝子工組合の除名を決定した。(組織部報告参照) 此のために従前の長崎市左南九州聯合会は名称を変更し九州聯合会として承認す。

第四 中央委員は(三月三日)総同盟全体の統制及び発展上大阪に関西出張所を置き、九州小倉に九州出張所を設置すべしことを決定した。同時に関西出張所主任は、西尾承広氏、九州出張所主任は今村等氏、副主任は光吉悦心氏とす。

尚、中央委員会は、神奈川聯合会設立の承認をした。其の他新加盟組合及止むなく消滅し去つた組合に就ては組織部報告の通りである。

以上

中央委員会記録

第一回中央委員会  
日時 大正十四年十月七日 午後一時より

場所 東京 三田本館にて  
出席者 鈴木文治 藤岡文六 上條愛一 望月源治  
中川重吉 田中勲 安藝盛 遠藤一志  
伊藤卯四郎 光吉悦心 石山寅吉 松岡駒吉  
赤松克麿 麻生久

一 各部長及部員の決定  
政治部長 麻生久 部員 赤松克麿 山名義徳

中央争議部長 西尾承廣 部員 赤松克麿 中川重吉 加藤勘

教育出版部長 鈴木脩 部員 鈴木脩 木村盛